

石田 峻真 選手・河波 櫻士 選手の紹介

いしだ りゅうま
石田 峻真 選手 (28歳) 背番号 **5 DF**

ホームタウン応援大使 ニックネーム
郡上市 イシ



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

静岡県湖西市出身。小学校時代地元サッカークラブがなく、陸上クラブやバスケットボールクラブなどに所属する生徒に声をかけて自分で作った。ジュビロ磐田で下部組織を教えていた監督が地元に来ることになり、自分自身のサッカーの熱が上がった。そしてその監督の影響でジュビロ磐田アカデミーのセレクションを受け合格した。その頃から今日の彼の「負けず嫌い」と「ハードワーク」が信条と言わしめる基礎が育まれたものと思った。その後ジュビロ磐田U-15、U-18で揉まれて、2015年晴れて名波監督のJ2のジュビロ磐田に加入した。自分は出場機会がないままチームはJ1に昇格し、2016年は5試合に出場した。出場機会が増えるように元ジュビロ磐田の監督であった柳下監督が指揮していたツエーゲン金沢に2年間の期限付き移籍をした。柳下監督の元で厳しい指導を受け、根気強く使って頂けたお蔭でディフェンダーとして成長し、アシストの結果も伴うようになって自信がついた。この時代の努力が今日に繋がっており、柳下監督と出会えたことに感謝している。その後短期のレンタルでレノファ山口の加勢に行き、またジュビロ磐田に戻った。

2021年からは完全移籍でJ3のSC相模原で2年間、2023年はいわてグルージャ盛岡で1年間プレーして、今年からFC岐阜に完全移籍で加入した。この10年間でJ1、J2、J3の6クラブで活躍してきた選手で、環境への溶け込みが早い上に、チームに同じ呼び名の「リュウマ」が3人いても素早く自分は「イシ」と呼んでと譲るなど、明るくリーダーシップも発揮している。チームは厳しい立ち位置にいるが、彼の「チームのための明るさと、負けず嫌い、ハードワーク」が必ずや貢献するものと期待している。今シーズンは1試合を除いてすべての試合に90分近く出場しており、彼が更に大きく成長するのを楽しみにしている。

試合の日は、地元湖西市から車で2時間かけて両親や祖母、兄の家族も頻りに応援に来て、風光明媚な岐阜市を楽しんでくれている。休みの日はホームタウン応援大使を務める郡上市にも訪れてオフを楽しんでいる。試合会場での熱い応援にはいつも激励されエネルギーをもらっている。一戦必勝で戦う石田選手に引き続き熱い応援をよろしくお願い致します。

かわなみ おうじ
河波 櫻士 選手 (23歳) 背番号 **7 FW**

ホームタウン応援大使 ニックネーム
海津市、養老町 おうじ



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

北海道函館市出身。小学生の頃サッカーを始め、アストレー鍛神FC、函館ジュニオールFC、中学時代はスプレッドイーグルFCなどの町クラブに所属してきた。高校は道内強豪の札幌創成高校に進みサッカー部に所属した。3年生の時に北海道大会でベスト4まで進んだ時に、幼馴染の友人がサッカー強豪の関東学院大学サッカー部に進むに当たって一緒に進学することにした。1、2年生時代はレギュラー選手になれなかったが、3年生で足の速さを認められるようになり、4年生の時に新監督が就任し、左サイドハーフにレギュラーで抜擢された時は非常に嬉しかった。4年生の夏にJ1サガン鳥栖の練習に参加するチャンスももらったが、練習最終日にアキレス腱断裂をしてしまった。翌年の2023年にサガン鳥栖への加入が決まったが、まだ走れない状態であったのでキャンプに参加しながらもリハビリに努めた。5月には初めて全体練習に参加できるようになった。そしてようやく、ルヴァンカップで10分間程度であったがJ1選手としてプロデビューをすることが出来て感激した。しかしながら、8か月間のリハビリ期間で筋肉バランスが戻らず、何度も肉離れを起こしリハビリを繰り返した。そして2024シーズンから心機一転、FC岐阜に期限付き移籍してきた。

開幕戦から3試合とルヴァンカップ戦に出場して頑張っていたが、4月に右大腿二頭筋肉離れで4週間以上の期間チームを離脱した。リハビリが終わり8月に復帰し、またピッチに戻ることが出来た。今度こそ万全の体で、自慢の足を活かしたアシストや得点でFC岐阜に貢献できるように、チームトレーニング以外にも低酸素トレーニングでコンディションアップや疲労回復にも励んでいる。これだけのアクシデントに見舞われながらも、時間のかかる治療に耐えてこられたのは、友人や先輩、ファンの励ましと精神力の賜物であり、ここから災い転じて福となすパワーを楽しみにしている。岐阜県のファンや42市町村やパートナー企業の皆様の熱狂的な応援にはいつも感謝しつつ、共に熱狂できるように頑張りたいと話す河波選手の応援を何卒よろしくお願いいたします。